

令和7年度がん検診等打ち合わせ事項書

令和7年8月25日（月）
午後7時30分～
伊勢市中央保健センター

（1）今年度のがん検診実施状況について

（2）令和8年度がん検診等について

（3）肺がん検診補助券について

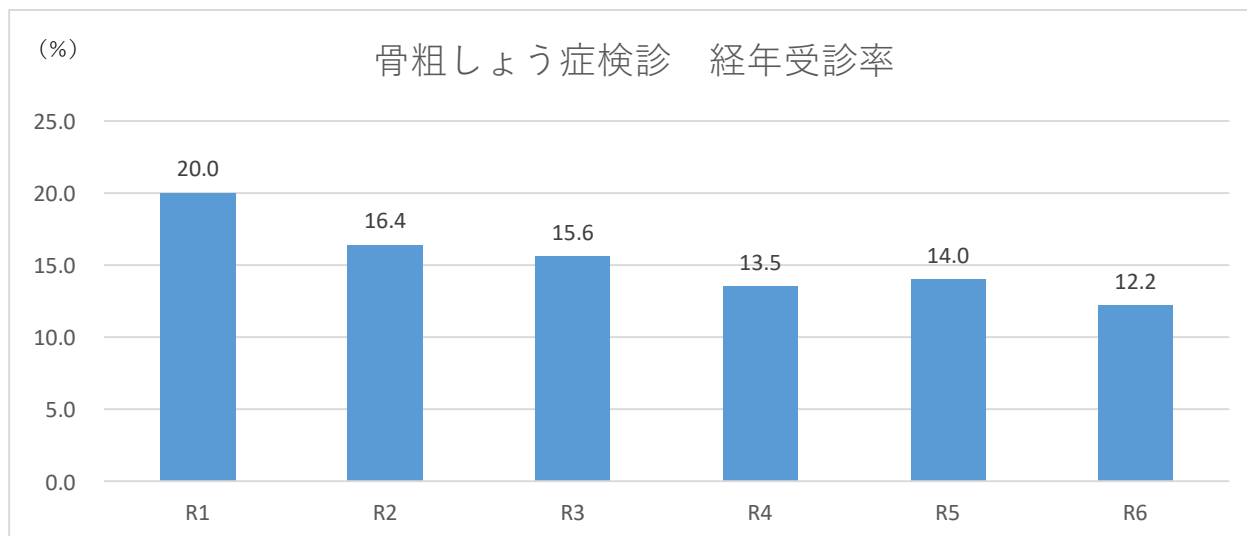
（4）子宮頸がん検診について

（5）その他

1. 骨粗しょう症検診について

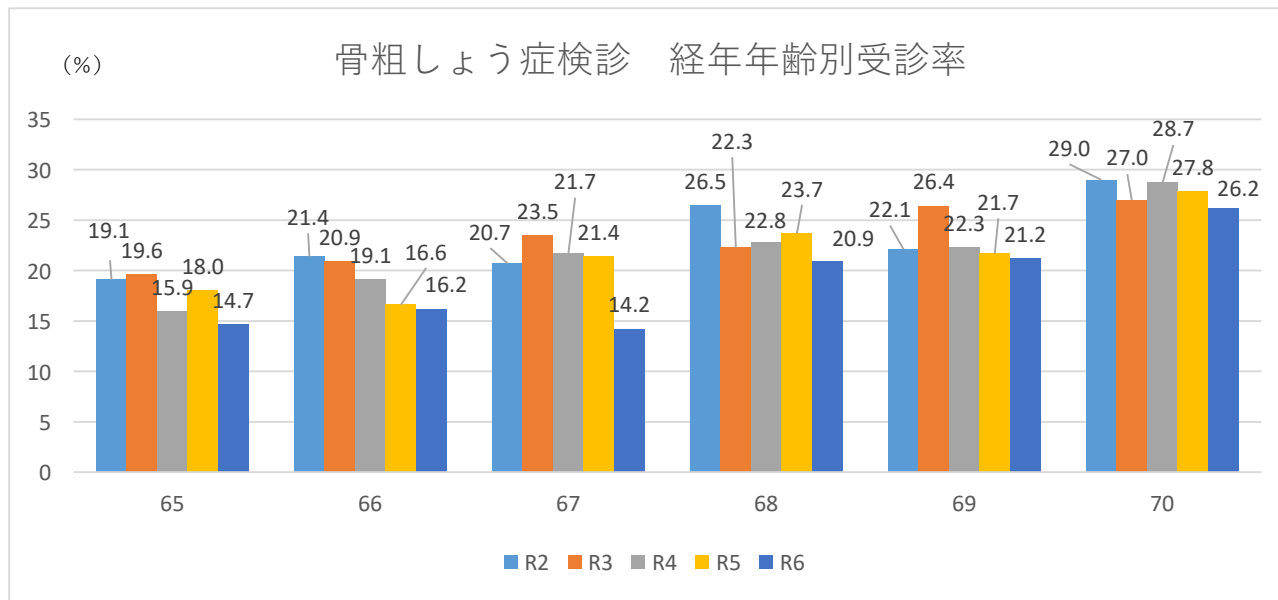
資料 2

1) 骨粗しょう症検診経年受診率



※対象者＝対象者年齢層の人口×60％

2) 骨粗しょう症検診 経年年齢別受診率



※対象者＝住民基本台帳人口より

資料3

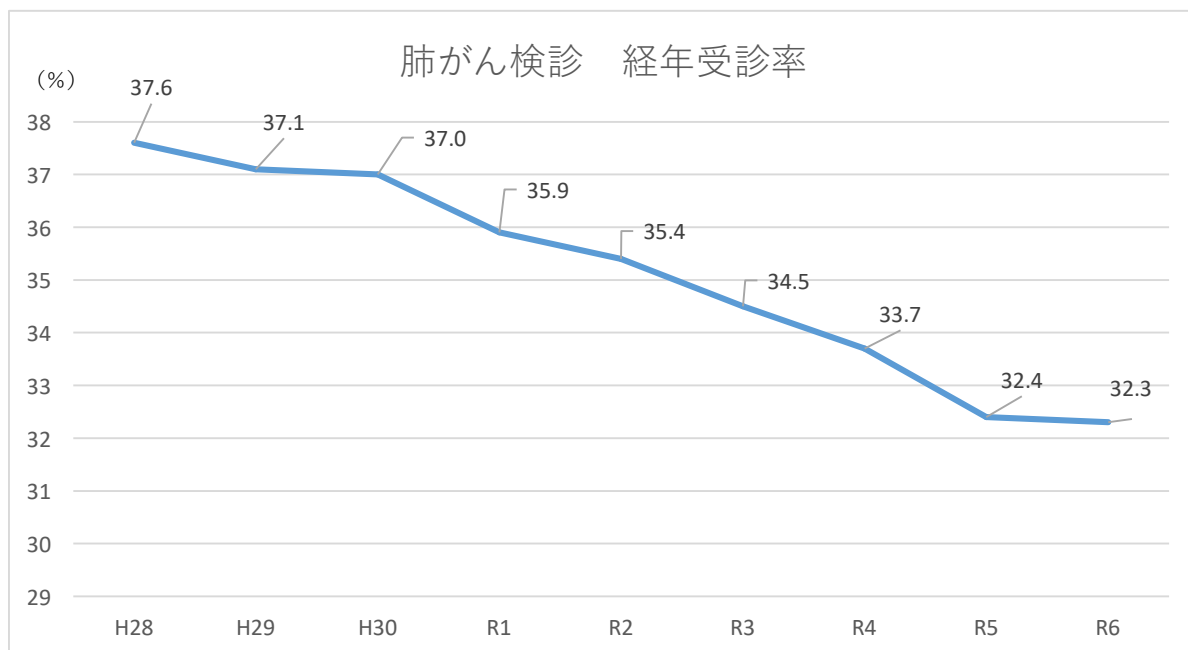
令和8年度 がん検診等委託料(案)

	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年
胃透視(バリウム)	13,360		13,310		13,310	
胃内視鏡(カメラ)	14,300		14,300		14,280	
大腸がん	1,190		1,190	1,300	1,300	
肺がん(フィルム)	2,590		2,510		2,510	
肺がん(デジタル)	3,100		3,100		3,100	
喀痰	3,740		3,520		3,520	
子宮がん	7,020		6,800		6,830	
子宮がん(頸部のみ)	3,850		3,630		3,630	
子宮がん(再検査料)	3,300		3,080		3,080	
乳がん	7,390		7,390		7,450	
前立腺がん	2,980		2,950		2,920	
骨粗しょう症検診(腰椎)	3,960		3,960		3,960	
骨粗しょう症検診(腰椎以外) ※MD法、SEXA法	1,610		1,610		1,610	
骨粗しょう症検診(腰椎以外) ※超音波法	880		880		880	
肝炎ウイルス(B・C)	3,740		3,710		3,670	
肝炎ウイルス(B)	2,550		2,550		2,550	
肝炎ウイルス(C)	2,770		2,740		2,710	
核酸増幅検査	3,850		3,740		3,630	

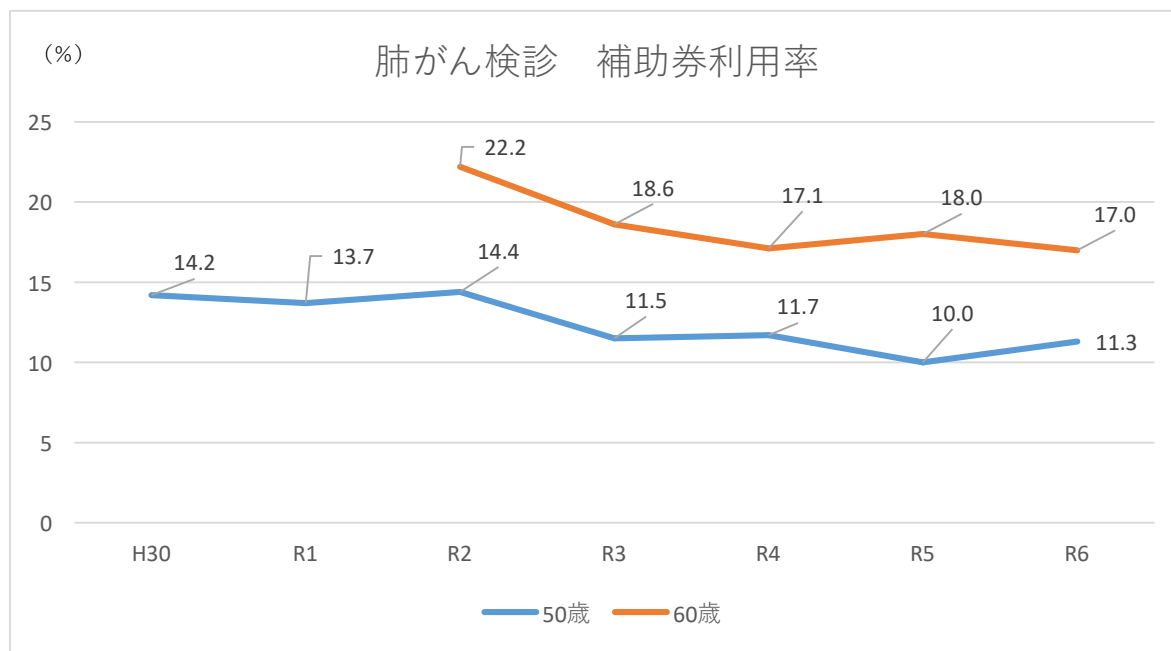
1. 肺がん検診補助券について

資料 4

1) 肺がん検診経年受診率



2) 肺がん検診補助券利用率



令和7年度がん検診等打ち合わせ会議における変更点の報告

令和7年8月25日（月）
午後7時30分～8時10分
伊勢市中央保健センター

事項書（2）令和8年度がん検診等について

- ・実施期間、内容、委託料は変更なし
- ・骨粗しょう症検診の対象年齢変更あり

（現状）腰椎（DEXA 法）

（変更後）

40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、60 歳の女性 ⇒ 変更なし

腰椎以外（MD 法、超音波法）

65 歳～70 歳の女性

⇒ 65 歳、70 歳の女性へ変更

【理由】骨粗しょう症検診の受診率は R6 年 12.2%で経年でみると年々低下している。骨粗しょう症検診は健康増進法に基づき 40 歳から 70 歳までの女性を対象に 5 歳刻みでの検診が推奨されており、伊勢市は推奨年齢対象外の 66～69 歳の女性も実施してきた。65 歳以上の対象者において毎年受診している人は 5.2%と少なく、受診率も低いため、健康増進法に基づいた対象年齢にて実施したい。また今後は 65 歳の節目で検診を受けてもらうよう啓発を強化し、骨粗しょう症予防の啓発も実施していく。

事項書（3）肺がん検診補助券について

- ・R8 は肺がん検診補助券を発行しない

【理由】経年でみると補助券を送付しても受診率向上の効果がみられなかった。補助券を発行した 50 歳、60 歳の補助券利用率も低く、同じ年齢層の中ではやや受診率はあがっているが全体でみると補助券を発行しても効果がないと判断した。

事項書（4）子宮頸がん検診について

- ・実施要領の記載変更

（現状）問診、視診、細胞診（頸部）及び内診、エコー（医師が必要と認めた場合）

↓

（変更後）問診、視診、細胞診（頸部）及び内診及び経膣超音波検査

【理由】R7 年 6 月 11 日、日本産婦人科医会の会議にて子宮頸がん検診において頸部細胞診と経膣超音波検査の併用が推奨された。令和 6 年度の伊勢市の状況を確認したところ、99.9%が頸部細胞診と経膣超音波検査の併用が行われていた（残り 0.1%においては、子宮疾患有、または器具が入らず経膣超音波検査実施できず）。基本は併用をお願いしたいが理由があり頸部細胞診のみとなった場合も委託料はそれぞれの金額でお支払いします。これらの伊勢市の現状にあわせ実施要領の記載を変更したい。